


<p>経済・経営</p> <p>keyword</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ ワルラス一般均衡理論の労働市場観とその思想的起源</p> <p>□ グローバリゼーションと経済思想の歴史</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ ワルラス ■ 一般均衡理論 ■ 経済学史 ■ 現代経済学史 ■ フランス経済思想 ■ 労働市場 	<p style="text-align: center;">課題解決に役立つシーズの説明</p>
 <p style="text-align: center;">御崎 加代子 Kayoko Misaki</p>	<p>大学での担当科目</p> <p>私の専門分野は経済学史で、滋賀大学経済学部では「経済学史」、「現代経済学史 I・II」、「Business & Economic History: History of Economic Ideas and Globalization」などの科目を担当しています。専門演習ではアダム・スミス『国富論』を輪読し、現代のグローバル経済をとりまく様々な問題について議論し、関連テーマの卒業論文を指導しています。</p> <p>●研究テーマ</p> <p>フランスの経済学者 レオン・ワルラス(1834-1910)の経済理論は、現代の経済理論とくにミクロ経済学の出発点になり、私たちに大きな影響を与えています。ワルラスの構築した一般均衡モデルは、市場経済の効率性を数学的に証明しようとしたもので、現代では市場原理主義や市場万能主義の根拠とみなされることがよくあります。しかし実際にワルラスが生涯持ち続けた目標は、社会正義の実現でした。私の研究テーマは、ワルラス一般均衡理論とその思想的背景を解明することであり、現在は特にワルラスの労働市場観とその思想的起源にとりこんでいます。</p>
<p style="text-align: center;">経済学部 教授</p>	<p>●研究活動</p> <p>主にヨーロッパを中心に国際学会での研究発表を行い、英語とフランス語で共著本や論文を公刊しています。</p>
<p>【プロフィール】</p> <p>●専門分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代経済学史 ・フランス経済思想史 <p>●略歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1992年 一橋大学大学院 経済学研究科 博士後期課程 単位修得 退学 ・1992年 一橋大学 経済学部 助手 ・1993年 山形大学 人文学部 講師 ・1996年 滋賀大学 経済学部 助教授 ・1999年 京都大学 博士号(経済学) 取得 ・2003年 滋賀大学 経済学部 教授 (現在に至る) 	<p>2008年に、スイスを拠点とする「国際ワルラス学会」(AIW)の会長に選ばれ、2010年まで同職をつとめました。2011年には、ユネスコ(UNESCO)から、同機関が編纂しているEOLSSという世界最大の教育・研究統合知識ベースの執筆者の一人に選ばれ、「ワルラシアン経済学の歴史、哲学、発展」という論文を寄稿しました。</p> <p>●著作リスト</p> <p>(単著)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『ワルラスの経済思想—一般均衡理論の社会ヴィジョン』名古屋大学出版会、1998年10月 2. 『フランス経済学史—ケネーからワルラスへ』昭和堂、2006年11月 <p>(共著)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Baranzini, R. (ed.) <i>Etudes Walrassiennes</i>, L' Harmattan, Paris, 2004, 4. Backhaus, J.G. (ed.) <i>From Walras to Pareto (European Heritage in Economics and the Social Sciences, vol.4)</i>, Springer, New York, 2006. 5. Baranzini, R. (ed.) <i>Léon Walras et l' équilibre économique général, Recherches récente</i>, Economica, Paris, 2011. 6. Ikeda, Y. And Yagi, K. (eds.) <i>Subjectivism and objectivism in the History of Economic Thought</i>, Routledge, London and New York, 2012. など。
<p>【主な社会的活動】</p> <p>●所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学史学会(日本) ・国際ワルラス学会 AIW (2008年~2010年 会長) ・ヨーロッパ経済思想史学会 ESHET ・北米経済学史学会 HES 	